

## NO16

### 伊勢電橋台

所在地は松阪市早馬瀬

※現在、橋台は撤去され、見ることはできません。



伊勢路の秋の風物詩、大学駅伝。最終ランナーが力走する県道松阪鳥羽線は、戦前、大部分が鉄道路線でした。

櫛田橋の上流100メートルほどの右岸堤防脇に、伊勢電鉄櫛田川橋梁の橋台の一部が、忘れ去られたように残っています。今は築堤がとり壊されて田んぼになっているので、県道からもよく見えます。

伊勢電鉄が開通したのは1930年。参急（現在の近鉄）と並行する路線は、複線の堂々たるもので、桑名方面からの参拝客を乗せて特急電車が疾走していました。

しかし不況と日中戦争勃発による時局急迫のなか、1937年8月に単線化され資材を他に転用されました。さらに太平洋戦争中の1942年にはその路線は廃止され、以後二度と電車が走ることはありませんでした。

橋台は戦跡そのものではありませんが、短命に終わった鉄道路線は、戦争の犠牲者といえるでしょう。平和な時代、今年も橋台のそばを学生ランナーが駆け抜けていきました。